



取付説明書

*TOYOTA*      *COROLLA*  
*SPACiO*      *ZZE122*  
*WISH*      *ZNE10G*

**BLITZ**

## (1) 安全上のご注意

### はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。  
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。  
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。  
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。  
【二柱式リフトをお勧めします】  
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。  
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。  
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。  
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。  
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。  
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちる場合があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。  
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。  
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

## 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。  
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。  
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。  
整備要領書がお手元がない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。  
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。  
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。  
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。  
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 本キット以外の部品の取り付け(点火プラグ以外)は絶対に行わないでください。  
弊社製エアクリーナー及びマフラーの取り付けに関しては問題ありませんが、その他の部品(弊社製品も含む)の取り付けは絶対に行わないでください。  
場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合があります。

弊社剥き出しタイプのエアクリナー(SUS POWER AIR CLEANER/SUS POWER CORE TYPE LM/SONIC POWER AIR CLEANER)を取り付けの際は、EFIヒューズを一度取り外し15秒以上経過後、再度ヒューズを接続してください。エンジン始動後、アイドル状態状態で5～10分間放置してください。

- ・ボンネット裏側の防音材が一部チャンバーと干渉してしまいます。干渉する部分を切り取るか、防音材を取り外してください。
- ・ボンネットの一部がチャンバーと干渉してしまう場合があります。干渉してしまう場合はボンネットの干渉する部分を削り加工してください。加工後は防錆処理(塗装等)をおこなってください。

#### 【作業の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。








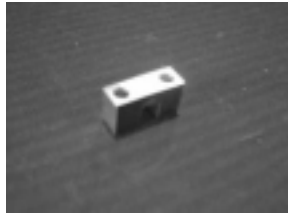




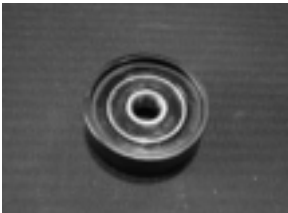
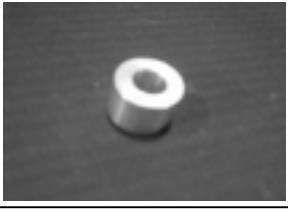
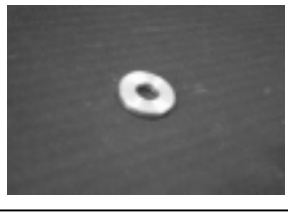
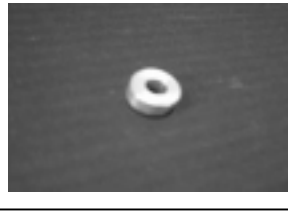
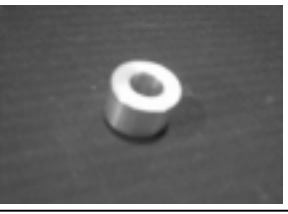

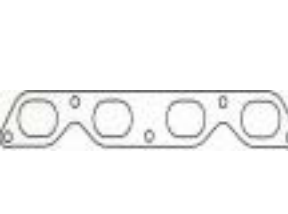
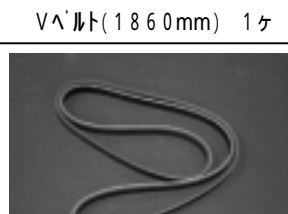
純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。




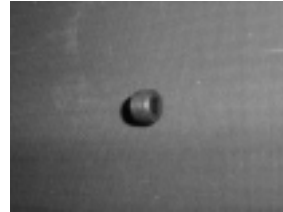




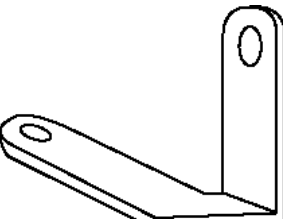





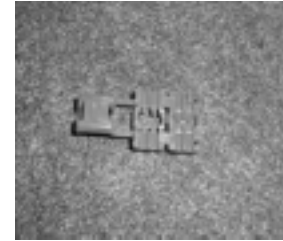
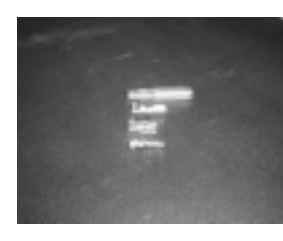




#### (2) 適合車種

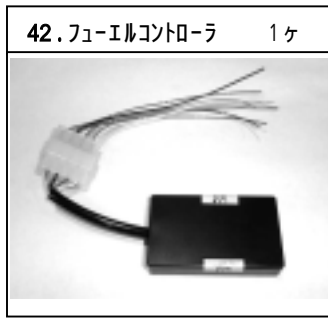
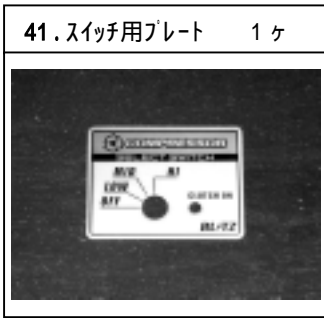
車 名: TOYOTA COROLLA SPACIO  
型 式: ZZE122N (2WD 車)  
E/G型式: 1ZZ-FE  
年 式: 2001年5月～2003年3月  
製品番号: 10165  
製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

車 名: TOYOTA WISH  
型 式: ZNE10G (2WD 車)  
E/G型式: 1ZZ-FE  
年 式: 2003年1月～2005年8月  
製品番号: 10165  
製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

## パーツリスト

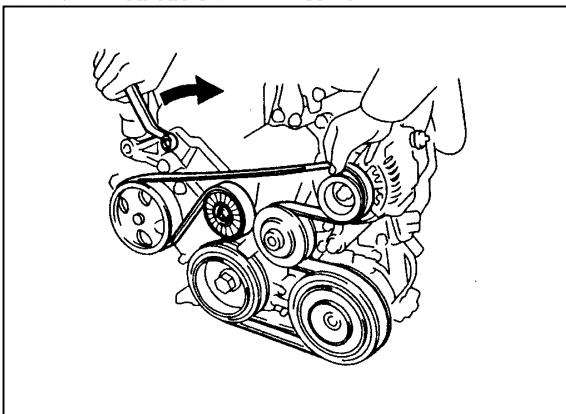
<p>1. コンプレッサ-本体 1ヶ</p> 	<p>2. チャンバー 1ヶ</p> 	<p>3. インテ-クマニホルド 1ヶ</p> 	<p>4. インレットパイプ 1ヶ</p> 
<p>5. コンプレッサ-ガスケット 2ヶ</p> 	<p>6. オルタネ-タープ-リー 1ヶ</p> 	<p>7. テンショナー-ブラケットA 1ヶ</p> 	<p>8. テンショナー-ブラケットB 1ヶ</p> 
<p>9. テンショナー-ブラケットC 1ヶ</p> 	<p>10. コンプレッサ-ステー 1ヶ</p> 	<p>11. テンショナー-ホルト 1ヶ</p> 	<p>12. アジャスター-ホルト 1ヶ</p> 
<p>13. テンショナー-プ-リー 1ヶ</p> 	<p>14. プ-リー-カラー 1ヶ</p>  <p>24- 12 h=14mm</p>	<p>15. コンプレッサ-カラー 2ヶ</p>  <p>20- 8 h=4.8mm</p>	<p>16. ブラケットカラー-A 1ヶ</p>  <p>24- 8 h=9mm</p>
<p>17. ブラケットカラー-B 1ヶ</p>  <p>20- 8 h=15mm</p>	<p>18. スロットルガスケット 1ヶ</p> 	<p>19. インマニガスケット 1ヶ</p> 	<p>20. Vベルト(1730mm) 1ヶ Vベルト(1860mm) 1ヶ</p> 

<p>21. Vベルト(575mm) 1ヶ</p> 	<p>22. ニップル大 1ヶ</p> 	<p>23. ニップル小 2ヶ</p> 	<p>24. 沈みプラグ 1ヶ</p> 
<p>25. リーハーネス 1ヶ</p> 	<p>26. 電磁クラッチ用スイッチ 1ヶ</p> 	<p>27. シリコンホース 1ヶ</p> 	<p>28. ホースバンド 2ヶ</p> 
<p>29. レベルゲージステー 1ヶ</p> 	<p>30. 9ホース(400mm) 1ヶ</p> 	<p>31. クランプ 2ヶ</p> 	<p>32. タイラップ L 10ヶ</p> 
<p>33. タイラップ S 10ヶ</p> 	<p>34. コンプレッサプレート 1ヶ</p> 	<p>35. エレクトロタップ 11ヶ</p> 	<p>36. キボシスリーブセット 1ヶ</p> 
<p>37. 7コルゲートチューブ 1ヶ</p> 	<p>38. スイッチコントローラ 1ヶ</p> 	<p>39. CAUTION ステッカー 2ヶ 無鉛プレミアムステッカー 2ヶ</p> 	<p>40. 取扱説明書 1ヶ</p> 

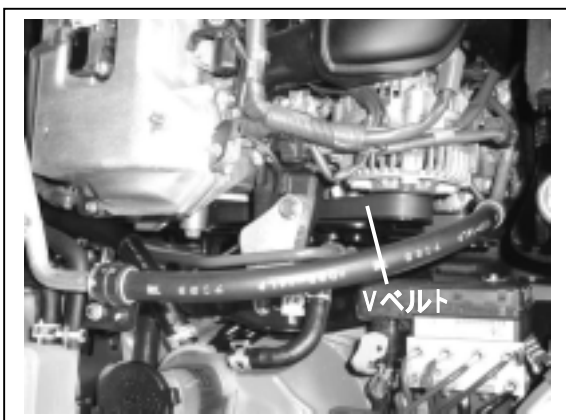


フランジホルト M6 × 16 9ヶ	フランジホルト M8 × 20 1ヶ	フランジホルト M8 × 25 3ヶ	フランジホルト M8 × 45 1ヶ
フランジホルト M10 × 25 1ヶ	フランジホルト M10 × 35 2ヶ	六角ホルト M10 × 50 1ヶ	キャップホルト M6 × 12 1ヶ
キャップホルト M6 × 25 4ヶ	フランジナット M6 4ヶ	フランジナット M10 2ヶ	スタッドホルト M6 3ヶ
ワッシャー M10 1ヶ	17 - 15カラー 1ヶ		

#### (4) 純正部品取り外し作業

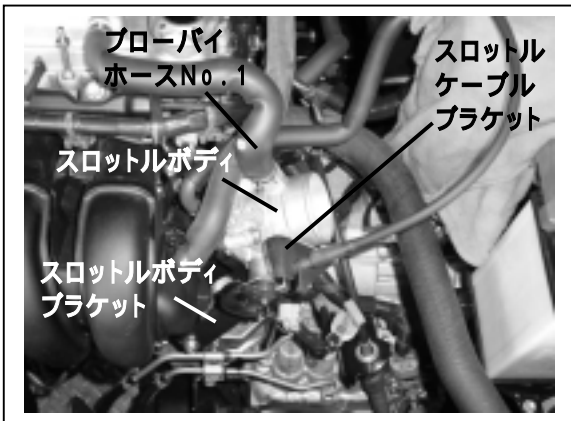


- (1) エンジンフードカバーを取り外す。
- (2) Vベルトテンショナーをゆっくり時計方向に回して、Vベルトを取り外す。

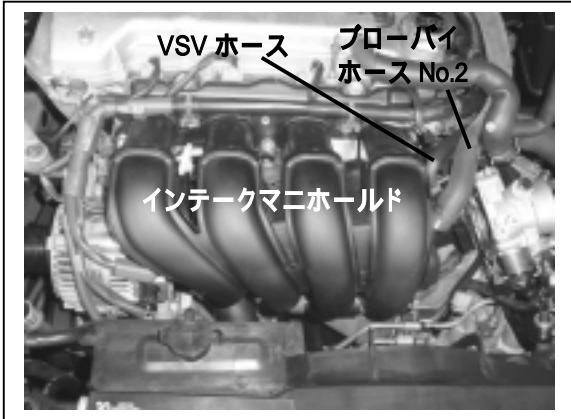


- (3) インテークホースを取り外す。



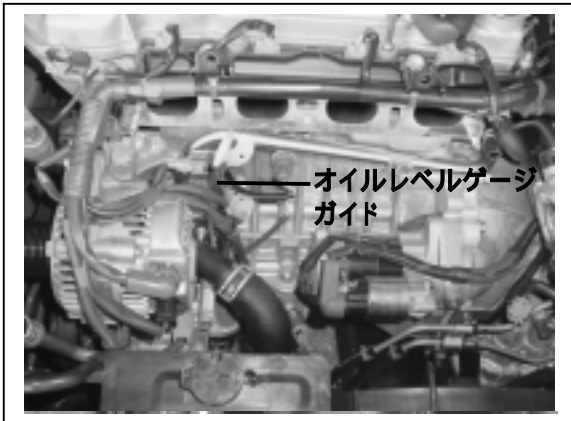


- (4) スロットルボディ取り外し作業  
ブローパイプ No.1 を取り外す。  
スロットルケーブルおよびスロットルケーブルブラケットを取り外す。  
ボルト(3ヶ)、ナット(2ヶ)を外して、スロットルボディブラケット、スロットルボディ、スロットルボディガスケットを取り外す。

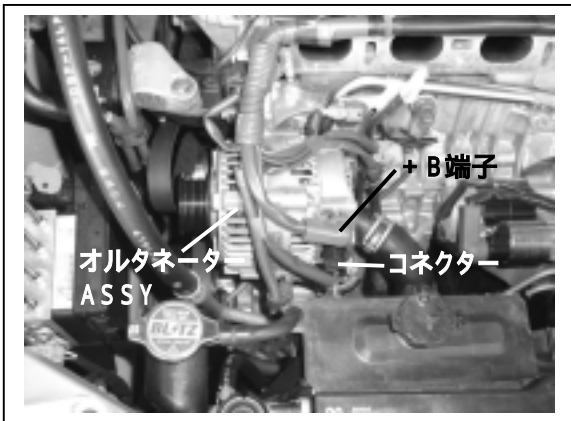


- (5) 純正インテークマニホールドより、ブローパイプ No.2、マスターバックホース、VSVホースを取り外す。

- (6) インテークマニホールドを取り外す。

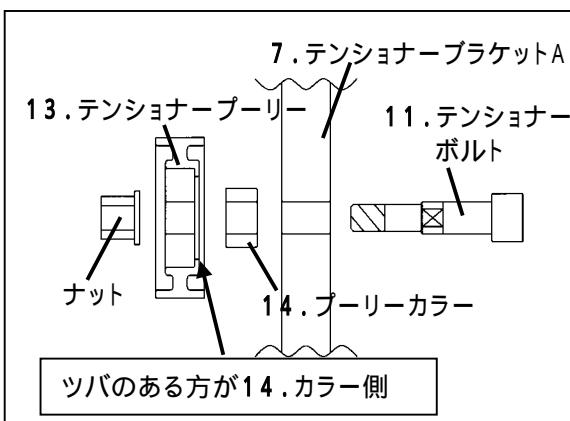
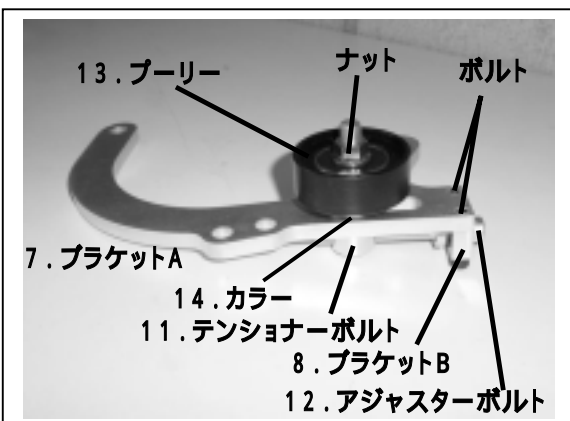
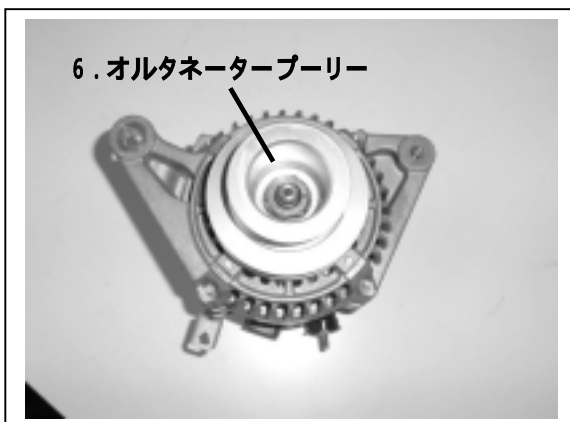


- (7) オイルレベルゲージおよびオイルレベルゲージガイドを取り外す。



- (8) オルタネーター ASSY 取り外し作業  
コネクタおよび +B 端子を取り外す。  
ボルト 2 本を取り外し、オルタネーター ASSY を取り外す。

## (5) コンプレッサキット取り付け作業



(1) オルタネータープーリーを取り外し、6. オルタネータープーリーと付け替える。

ネジ部にネジロック剤を塗布して下さい。

締め付けトルク

$100\text{N}\cdot\text{m}$  ( $1020\text{kgf}\cdot\text{cm}$ )

車両によりオルタネータープーリー取り付け部のシャフト径が 15 の場合があります。

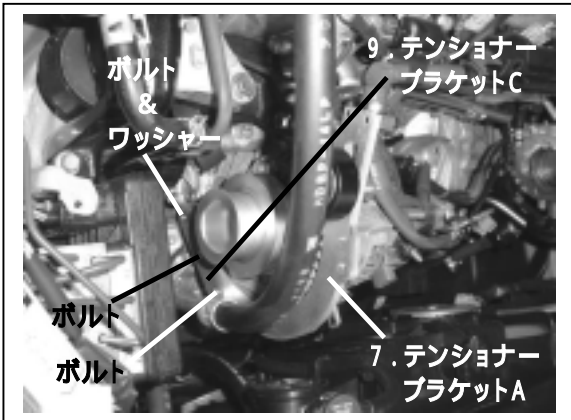
シャフト径が 15 の場合は 17 - 15 カラーを使用して取り付けしてください。

(2) 7. テンショナーブラケットAに、8. テンショナーブラケットB、11. テンショナーボルト、12. アジャスターボルト、13. テンショナープーリー、14. プーリーカラーを、キャップボルトM6×25(2ヶ)、フランジナットM10(1ヶ)を使用して取り付ける。

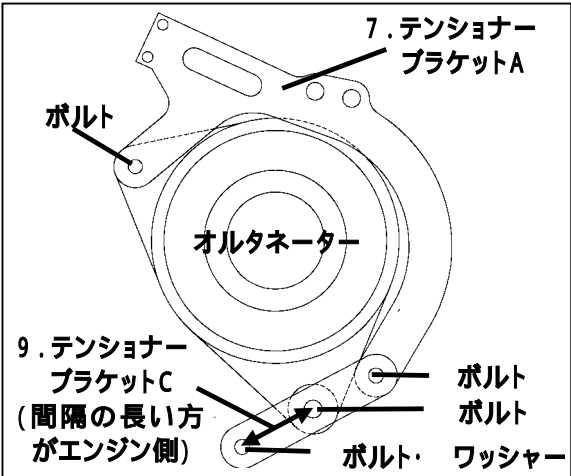
13. テンショナープーリーには取り付け向きがあります。

13. テンショナープーリーは、ツバのある方が14. プーリーカラー側です。

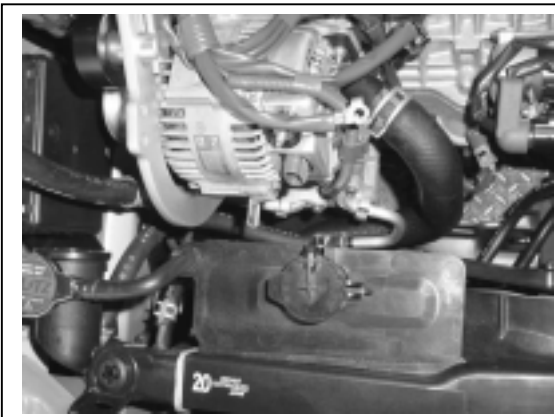
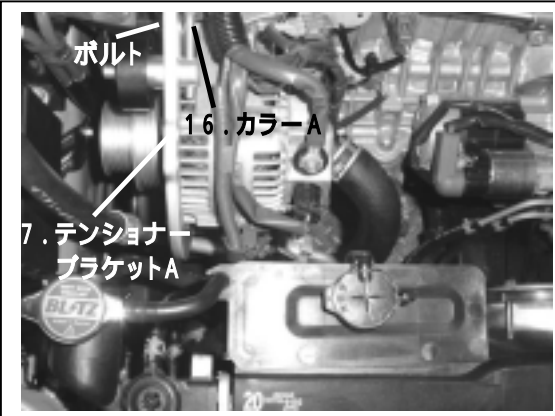
ナットは仮付けです。



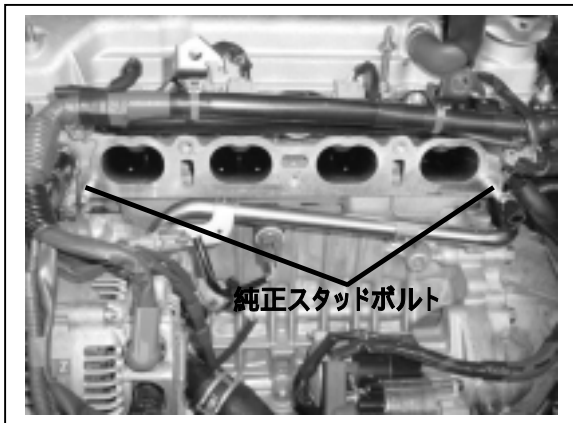
- (3)オルタネーター取り付け作業  
 (2)で組み付けた7.テンショナーブラケットAと9.テンショナーブラケットCを、フランジボルトM10×25(1ヶ)、六角ボルトM10×50(1ヶ)、ワッシャーM10(1ヶ)を使用して仮付けする。  
 9.テンショナーブラケットCは、ボルト穴間隔の長い方が、エンジン側です。



16. ブラケットカラーA、フランジボルトM8×45(1ヶ)、フランジボルトM10×35(1ヶ)を使用して、オルタネーターを仮付けする。  
 16. ブラケットカラーAは、7.テンショナーブラケットAとオルタネーターの間に取り付けます。



- オルタネーターのコネクターと+B端子を、元通り取り付け。  
 +B端子締め付けトルク  
 10N・m(100kgf・cm)



- (4) インテークマニホールド取り付け作業  
エンジンのインテークマニホールド取り付け面の、純正スタッドボルト(2ヶ)を取り外す。図の位置に、純正スタッドボルト(2ヶ)を付け替える。

19. インマニガスケット、純正インマニナット(2ヶ)、フランジボルトM8×25(3ヶ)を使用して、3. インテークマニホールドを取り付ける。

純正スタッドボルトに、純正インマニナットを使用します。

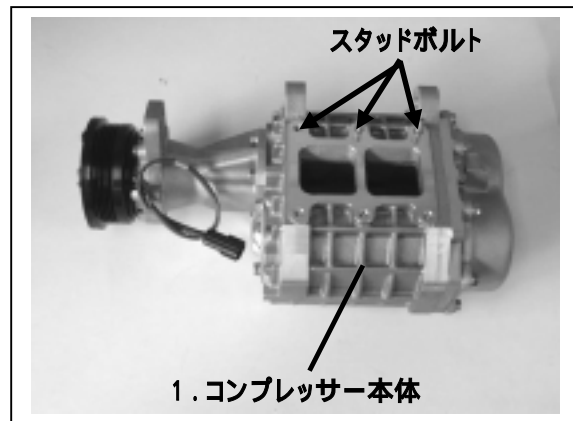
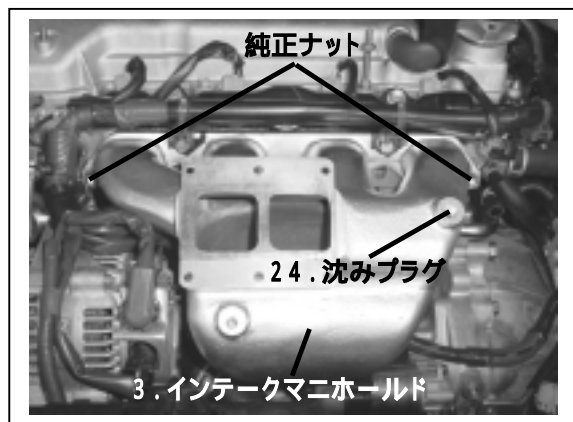
締め付けトルク

$30\text{N}\cdot\text{m}$  (306 kgf·cm)

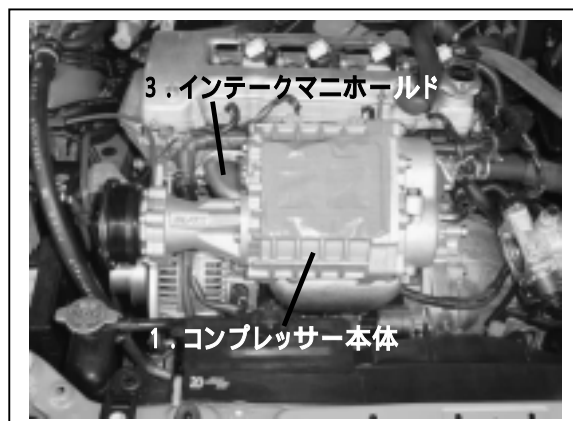
- (5) 3. インテークマニホールドに 24. 沈みプラグを取り付ける。

シールテープ・シール剤等を使用して、取り付けてください。

ブースト計を取り付ける際はこの位置にニップルを取り付けて配管してください。



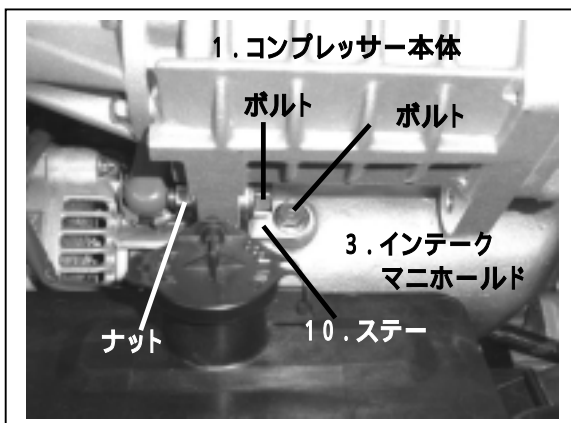
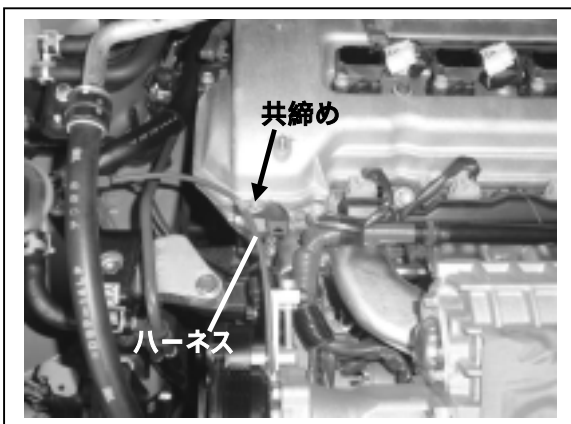
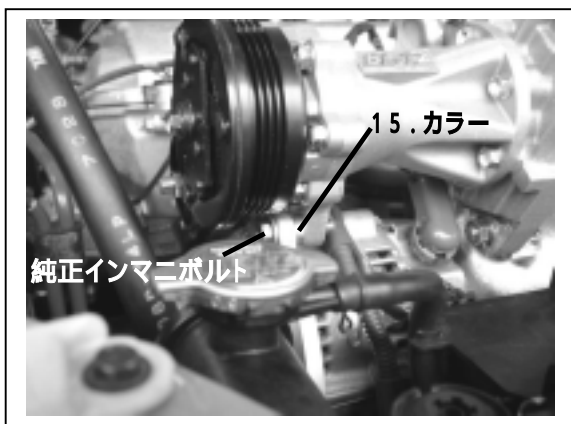
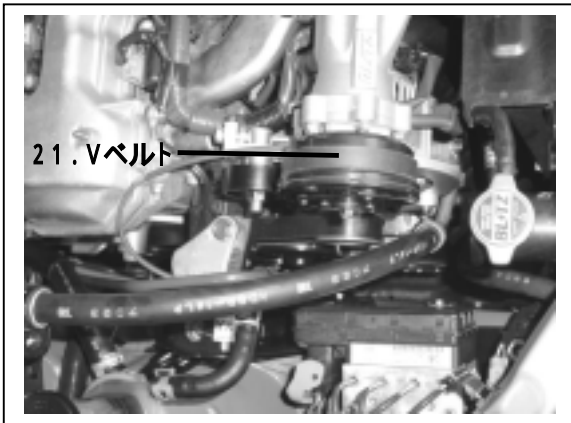
- (6) 1. コンプレッサー本体取り付け作業  
1. コンプレッサー本体の図の位置に、スタッドボルト(3ヶ)を取り付ける。



5. コンプレッサーガスケット(1ヶ)、フランジボルトM6×16(3ヶ)、フランジナットM6(3ヶ)を使用して、1. コンプレッサー本体を3. インテークマニホールドに仮付けする。

スタッドボルト部分にフランジナットM6を、残りの4穴にフランジボルトM6×16を使用します。

1. コンプレッサー本体を取り付けする際に 21. Vベルトを仮付けしておいてください。



15.コンプレッサーカラー(2ヶ)、純正インマニボルト(2ヶ)を使用して、1.コンプレッサー本体のノーズ部分を7.テンショナーブラケットAに取り付ける。

15.カラーは、1.コンプレッサー本体ノーズ部と7.ブラケットの間に挟みます。

締め付けトルク

18.5N・m(188kgf・cm)

P12 で仮付けだった部分を、本締めします。

締め付けトルク

10N・m(100kgf・cm)

P11(3)で仮付けだった部分を、本締める。

締め付けトルク

M8 29N・m(290kgf・cm)

M10 35N・m(357kgf・cm)

1.コンプレッサー本体から出ているハーネスのステーを、図の位置に共締めする。

締め付けトルク

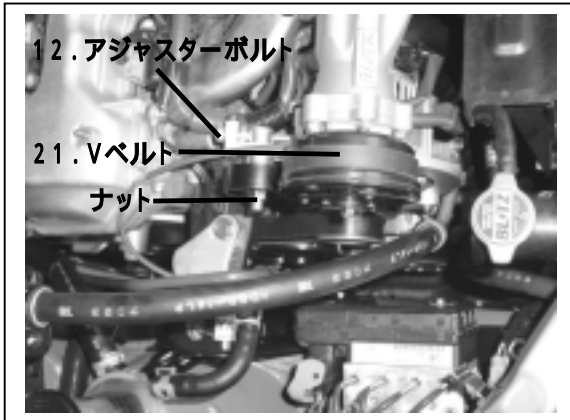
11N・m(112kgf・cm)

フランジボルトM8×20(1ヶ)、フランジボルトM10×35(1ヶ)、フランジナットM10(1ヶ)を使用して、10.コンプレッサーステーを取り付ける。

締め付けトルク

M8 18.5N・m(188kgf・cm)

M10 45N・m(450kgf・cm)



- (7) 12. アジャスターボルトを調節して、21. Vベルトにテンションをかける。

### 21. Vベルトたわみ量 (mm)

	新品取り付け時	点検時
たわみ量	7~8.5	11~13

上記たわみ量はあくまでも目安です。  
最初はテンションを緩めにして、エンジン始動後、ベルトが滑らない所までテンションを徐々にかけてください。

- (8) ナットを本締めして、13. テンショナープーリーを固定する。

締め付けトルク

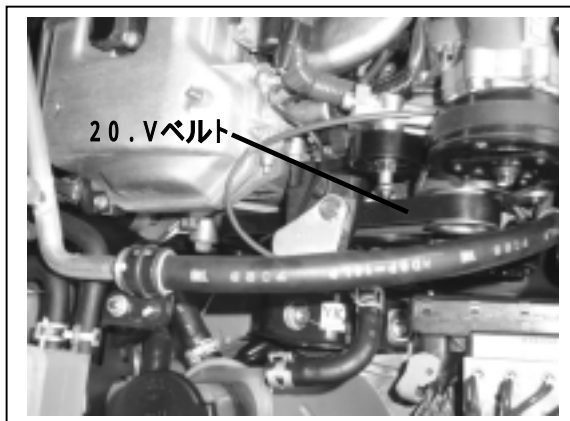
45 N・m (450 kgf・cm)

- (9) Vベルトテンショナーをゆっくり時計方向に回して、20. Vベルトを取り付ける。

ZNE10Gの場合 6PK1730

ZZE122Nの場合 6PK1860

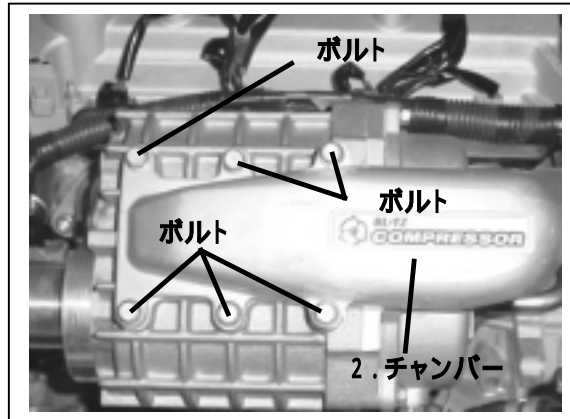
を取り付けしてください。



- (10) 5. コンプレッサーガスケット(1ヶ) フランジボルトM6×16(3ヶ)、キャップボルトM6×12(1ヶ)、キャップボルトM6×25(2ヶ)を使用して、1. コンプレッサー本体に、2. チャンバーを取り付ける。

締め付けトルク

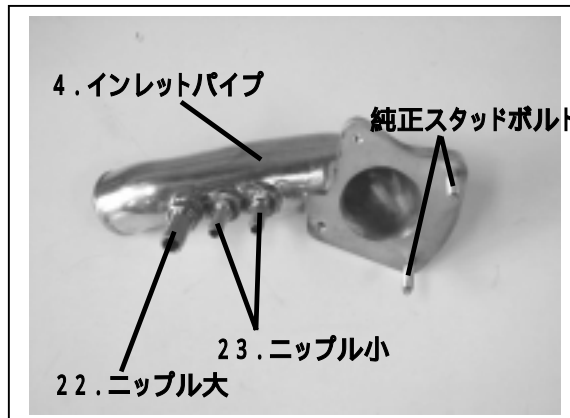
10 N・m (100 kgf・cm)

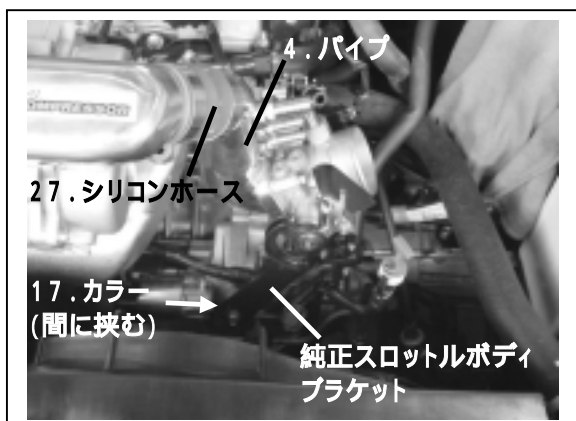


- (11) 純正インマニのスロットルボディ取り付け面から、スタッドボルトを取り外す。

- (12) (11)で取り外した純正スタッドボルト(2ヶ)、22. ニップル大(1ヶ)、23. ニップル小(2ヶ)を、4. インレットパイプに取り付ける。

ニップルは、シールテープ・シール剤等を使用して、取り付けてください。





- (13) 27.シリコンホース、28.ホースバンド(2ヶ)を使用して、4.インレットパイプを仮付けする
- (14) 17.ブラケットカラーB、純正スロットルボディボルト(2ヶ)、純正スロットルボディブラケットボルト(1ヶ)、純正スロットルボディナット(2ヶ)を使用して、18.スロットルガスケット、純正スロットルボディブラケット、スロットルボディを取り付ける。

締め付けトルク

$30\text{N}\cdot\text{m}(306\text{kgf}\cdot\text{cm})$

17.カラーは、純正スロットルボディブラケットとエンジンの間に挟みます。

- (15) 純正ボルトを使用して、スロットルケーブルおよびスロットルケーブルブラケットを、元通り取り付け。

締め付けトルク

$13\text{N}\cdot\text{m}(133\text{kgf}\cdot\text{cm})$

- (16) (13)で仮付けだった28.ホースバンドを、本締めする。
- (17) スロットルボディに、ブローバイホースNo.1を、元通り取り付け。
- (18) 4.インレットパイプの23.ニップル小(2ヶ)に、マスターバックホースとVSVホースを取り付ける。

マスターバックホースが短い場合は、30.9ホースと31.クランプ(2ヶ)を使用して、付け替えてください。

- (19) 4.インレットパイプの22.ニップル大に、ブローバイホースNo.2を取り付ける。
- (20) 純正インテークホースを元通り取り付け。

(21) オイルレベルゲージおよびオイルレベルゲージガイド取り付け作業

図を参考にして、オイルレベルゲージガイドを、若干曲げ加工する。

他部品とのクリアランス、29. レベルゲージステーとの取り付け具合を確認しながら、慎重に加工してください。

オイルレベルゲージを挿し込む事ができるか、その都度、確認しながら加工してください。

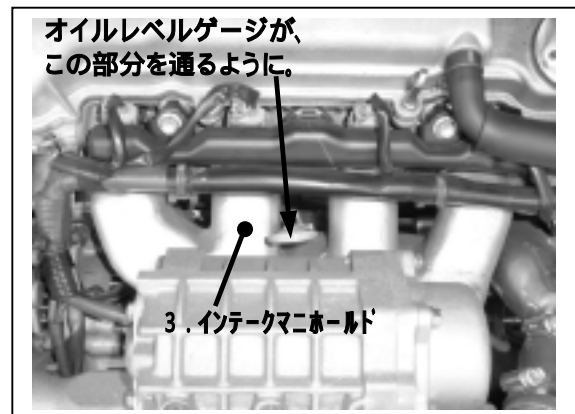
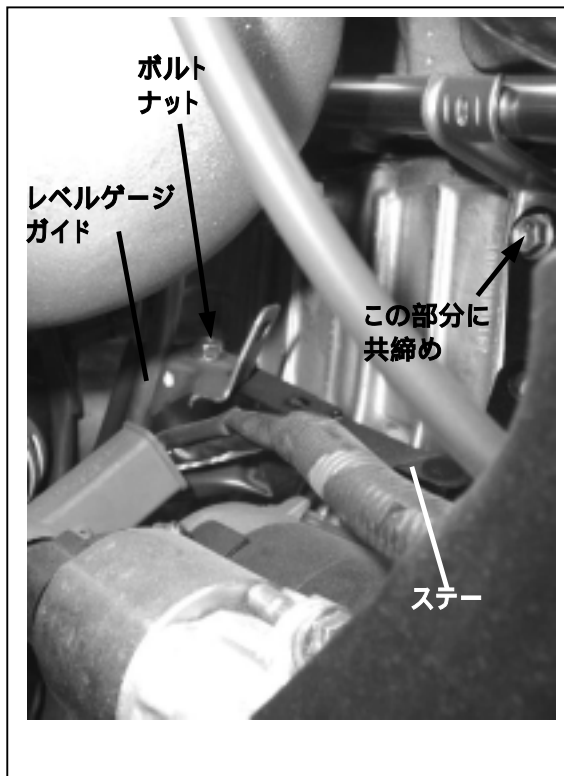
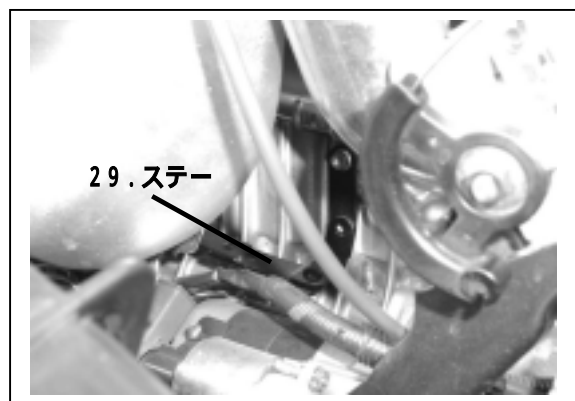
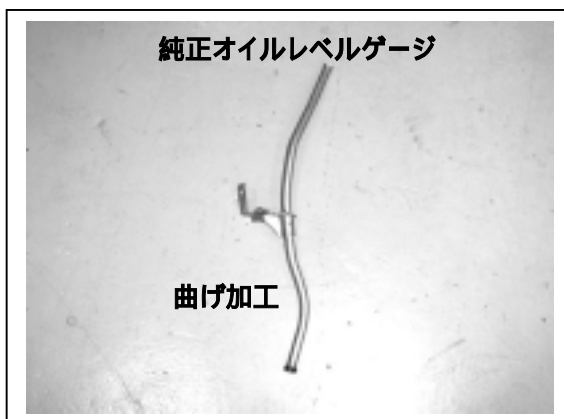
パイプの潰れ・折れに注意して加工してください。

29. レベルゲージステー、 フランジボルト M6 × 16 (1ヶ)、 フランジナット M6 (1ヶ) を使用して、オイルレベルゲージガイドを取り付ける。

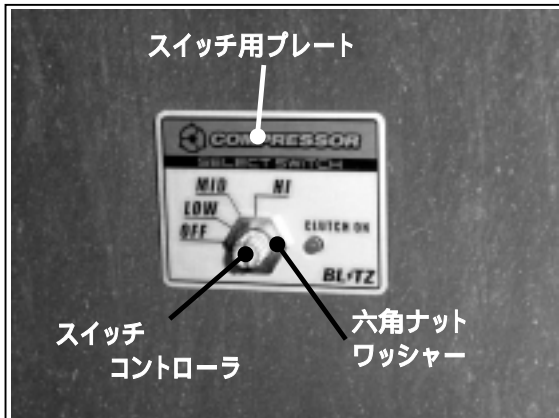
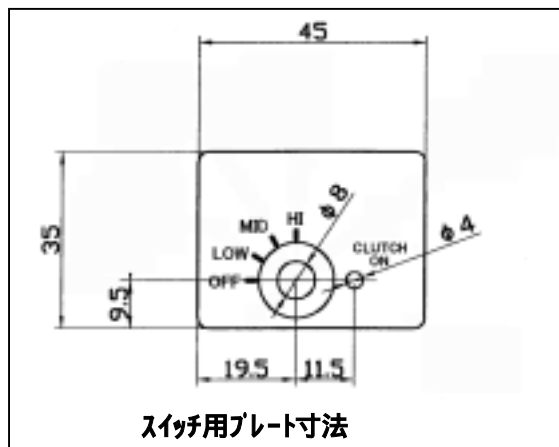
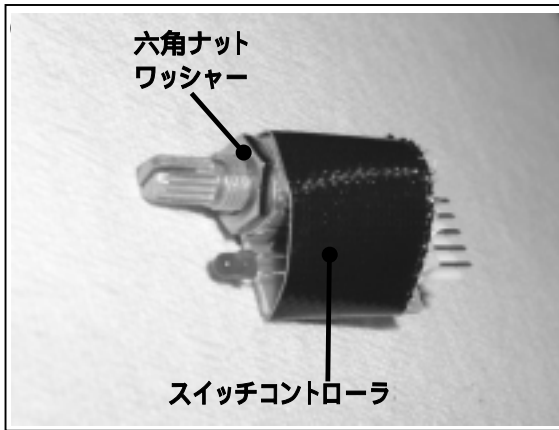
締め付けトルク

10N・m (100kgf・cm)

オイルレベルゲージをオイルレベルゲージガイドに差し込む。







(22) 38.スイッチコントローラおよび 41.スイッチ用プレート取り付け作業

スイッチの取り付けは穴あけ加工が必要となります。

取り付け位置はお客様にご確認の上、加工・取り付けを行ってください。

38.スイッチコントローラの調節つまみ部の六角ナットおよびワッシャーを取り外す。

38.スイッチコントローラを取り付ける場所に、穴開け加工する。

穴寸法は、図をご参照ください。なお、取り付け部分の厚み等により、若干の寸法の調整が必要です。

開けた穴に、38.スイッチコントローラの調節つまみ部と、赤色 LED を通し、表面保護シートおよび裏面剥離紙を剥がした 41.スイッチ用プレートを上から被せ、六角ナット・ワッシャーで固定する。

スイッチ用プレートを、貼り付け、固定する。

38.スイッチコントローラのつまみ取り付け部を反時計回りに止まるまで回し、調節つまみのマークが OFF に合うように取り付ける。

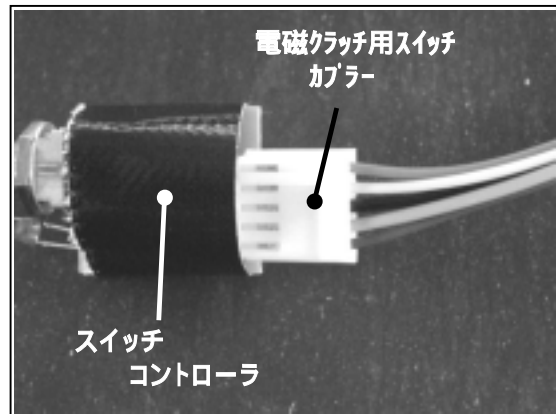
調節つまみを回し、プレート表記位置とつまみマークが合っていることを確認してください。

38.スイッチコントローラのカプラーと、

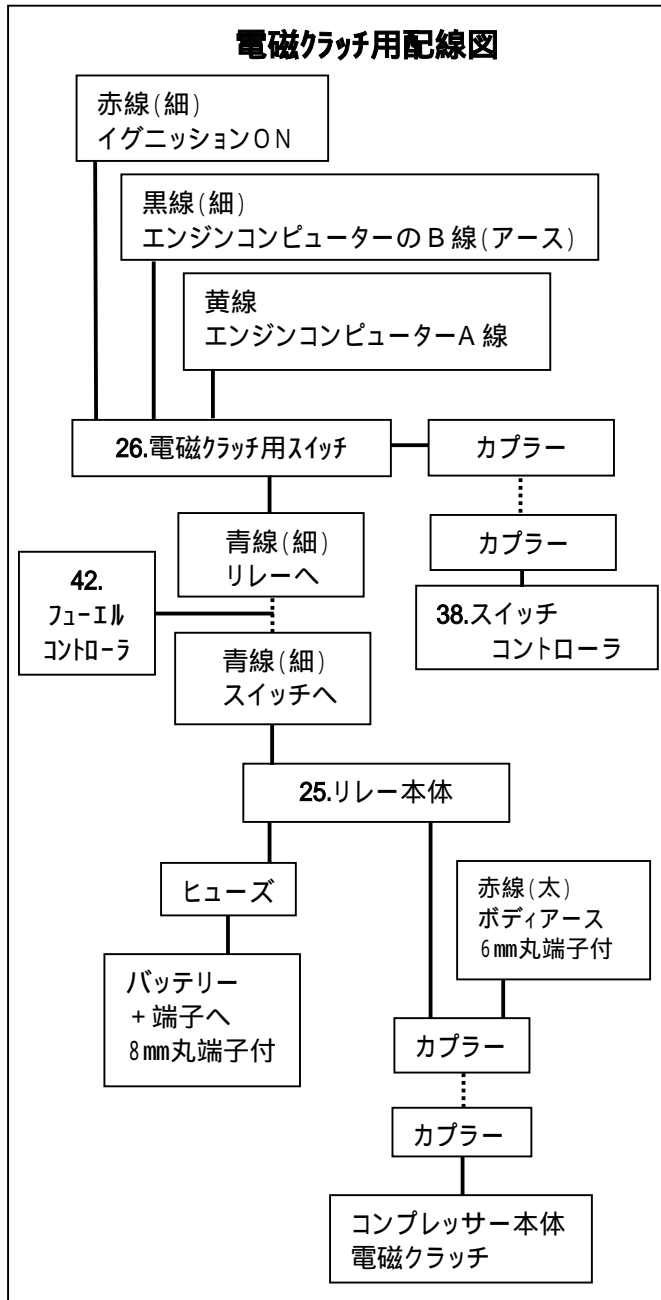
26.電磁クラッチ用スイッチのカプラーを接続する。

スイッチ類本体および配線類を、タイラップを使用して、固定する。

高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



(23) 26.電磁クラッチ用スイッチ、25.リレーハーネスの取り付け作業



助手席側グローブボックスを取り外す。  
25.リレーハーネスのカプラーをコンプレッサー本体から出ているハーネスカプラーに接続する。

フランジボルトを使用して、25.リレーハーネスのリレー本体を、適当な位置に固定する。

プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しない場所に固定してください。

25.リレーハーネスのカプラーから出ている赤線(6mm丸端子)を、ボディアース位置に取り付ける。

リレー本体から出ている赤線(8mm丸端子)をバッテリープラス端子に接続する。

リレー本体から出ている青線を、助手席側の室内に引き込む。

ハーネスを7コルゲートチューブで被覆し、プーリー・Vベルト等の可動部や高熱部に干渉しないよう、タイラップで固定してください。

バッテリーに接続する線と、ボディアースする線を、間違えないように注意してください。

26.電磁クラッチ用スイッチの黄線を、ECU配線図のA線に接続する。

26.電磁クラッチ用スイッチの黒線(細)を、ECU配線図のB線に接続する。

26.電磁クラッチ用スイッチの赤線(細)を、イグニッションON電源線に接続する。

赤線(細)は、適当な長さに切って使用してください。

ギボシ・スリーブセット(1ヶ)を使用して、26.電磁クラッチ用スイッチの青線を、で室内に引き込んだ25.リレーハーネスの青線と接続する。

(24) 42.フューエルコントローラ取り付け作業

ECU 配線図に従って、42.フューエルコントローラ配線と純正 ECU 配線および

26.電磁クラッチ用スイッチの青線を接続する。

ECUは助手席側グローブボックスの奥にあります。

全て、又取りです。

配線の断線・接続不良には、十分注意して、作業してください。最悪の場合、エンジン破損の原因となります。

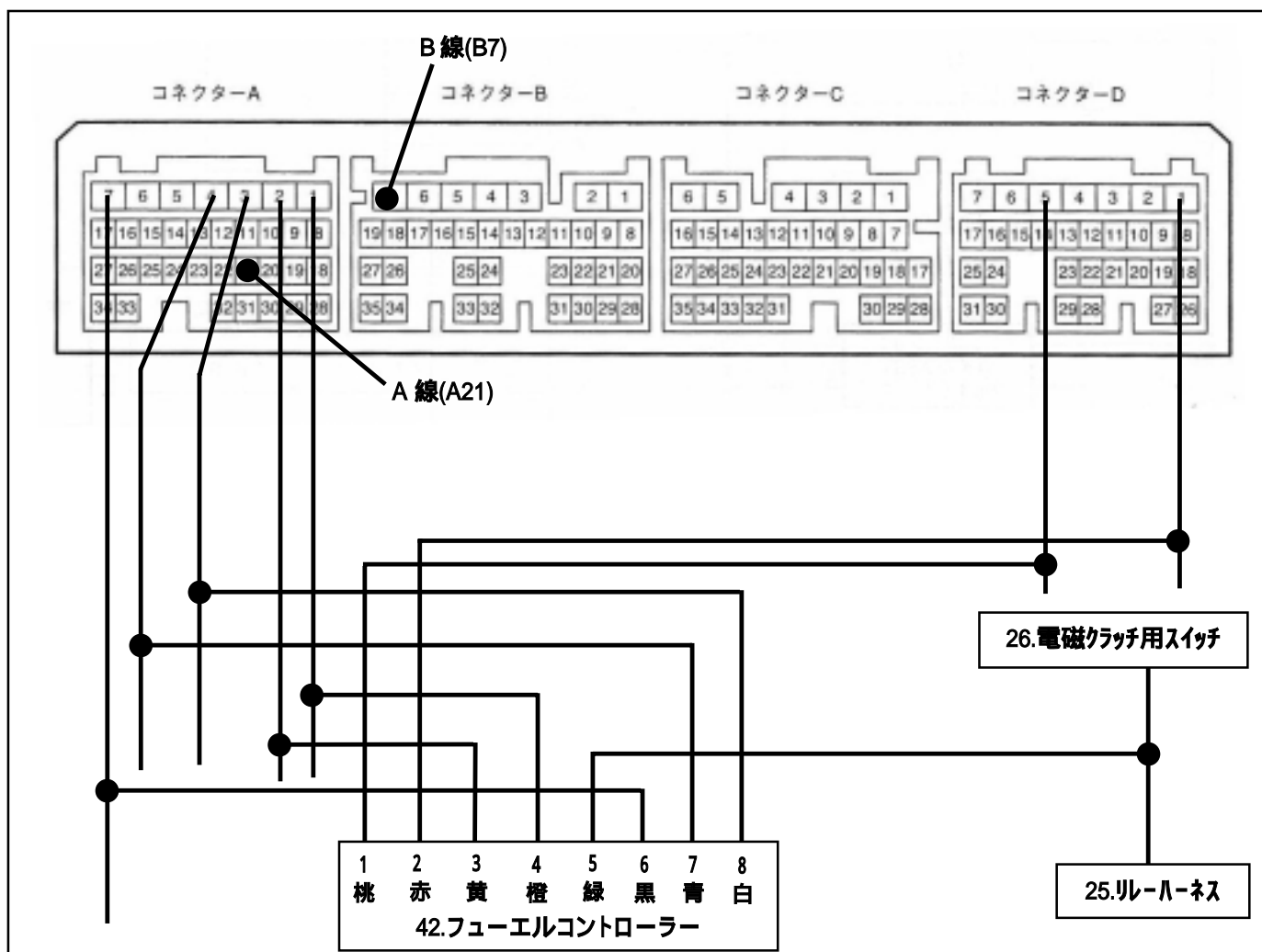
42.フューエルコントローラを適当な場所に固定する。

配線類を、タイラップSを使用して固定する。

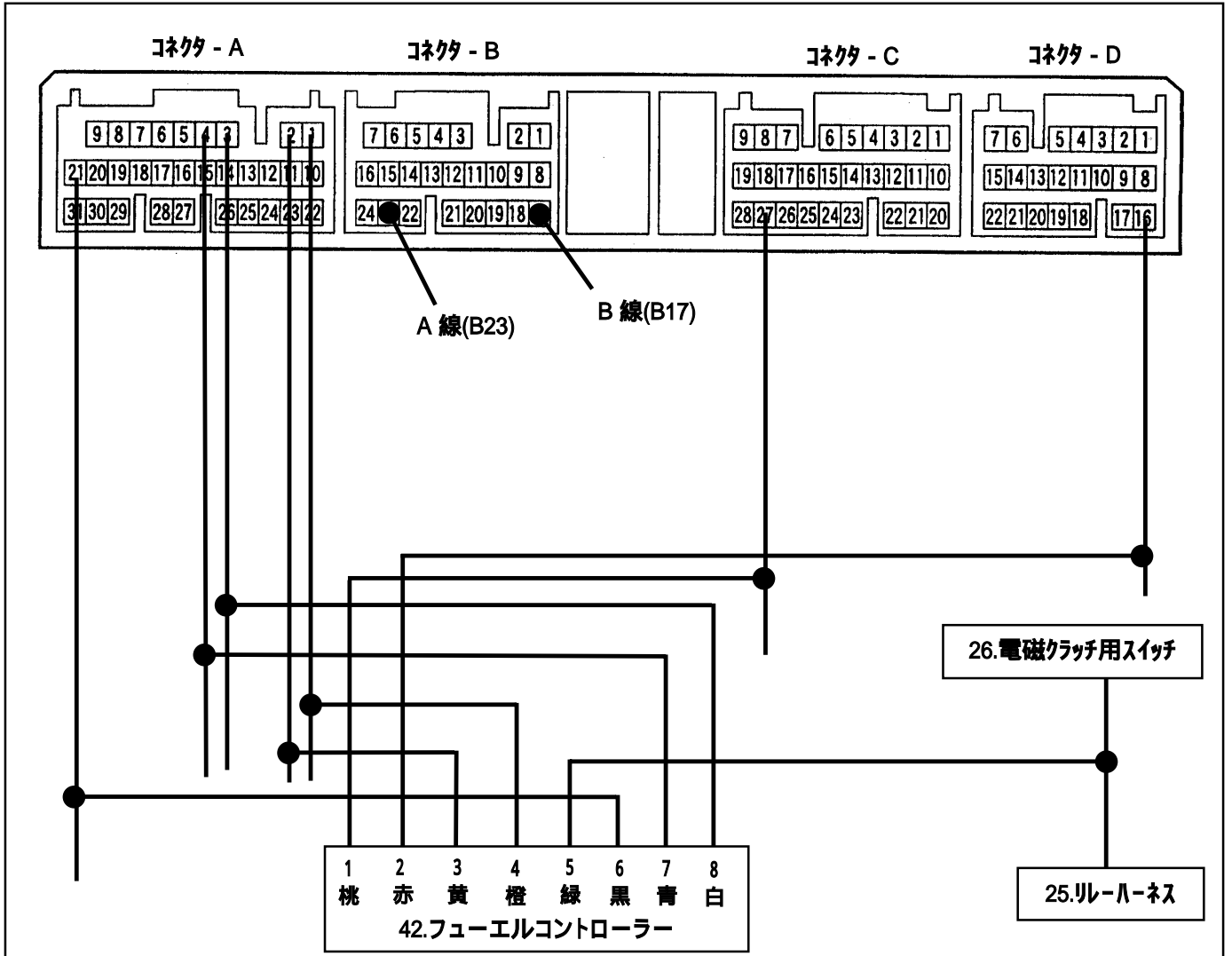
高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

グローブボックスを元のように取り付ける。

TOYOTA WISH ZNE10G ECU配線図



# TOYOTA COROLLA SPACIO ZZE122N ECU配線図



42. フューエルコントローラー - 端子配列図

1 桃	2 赤	3 黄	4 橙
5 緑	6 黒	7 青	8 白

- (25) 純正エンジンカバーを取り付ける。
- (26) バッテリーマイナス端子を取り付ける。
- (27) イグニッションキーをON、セレクトスイッチをLOW、MID、HIにしてそれぞれの位置でアクセルペダルを踏み込み、途中でコンプレッサープーリーのクラッチがONになる事を確認してください。  
エンジンを始動しなくてもクラッチはONになります。  
スイッチコントローラー部LED(赤)の点灯及びエンジンルームコンプレッサー本体の電磁クラッチ部を確認してください。
- (28) エンジンを始動し、アイドリング状態で5～10分間放置する。
- (29) エンジン始動状態でレーシングを行い、ベルトの滑りを確認する。  
ベルトが滑っている場合はP14を参考にベルトテンションの調整を行ってください。  
実走行でベルトの滑りが出ている場合も同様にベルトテンションを調整してください。
- (30) 同様にエンジン始動状態でレーシングを行い、42. フューエルコントローラーの側面に付いているLED(赤)の点灯を確認する。  
電磁クラッチON、エンジン回転数1000rpm以上の条件でフューエルコントローラーが作動(LEDが点灯)します。  
LEDが点滅または点灯しない場合は配線の不良・間違いが考えられます。  
再度配線の確認を行ってください。

#### 注意事項

- ・ ボンネット裏側の防音材が一部チャンバーと干渉してしまいます。  
干渉する部分を切り取るか、防音材を取り外してください。
- ・ ボンネットの一部がチャンバーと干渉してしまう場合があります。  
干渉してしまう場合はボンネットの干渉する部分を削り加工してください。  
加工後は防錆処理(塗装等)をおこなってください。
- ・ 点火プラグは必ず熱価の高いものに交換してください。
- ・ ガソリンは必ずハイオクガソリンに入れ換えてください。  
レギュラーガソリンが残っている場合はコンプレッサーの電磁クラッチをONにしないで走行してください。(セレクトスイッチOFF位置)  
何度か給油し、燃料タンク内のガソリンが完全にハイオクガソリンになってから電磁クラッチをONにして走行してください。

**注意** レギュラーガソリンで電磁クラッチをONにして走行するとノッキングを発生させ、エンジン破損の原因になります。

以上で、本キットの取り付けは終了です。

## (6) 取り付け後の確認

### エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。
- ・ 点火プラグが熱価の高い物に交換されているか確認してください。
- ・ 本キット以外の部品(点火プラグ以外)が装着されていないか確認してください。

### エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサー、エンジン本体から異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

## (7) メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

### コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
  - ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
  - ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)
- キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

### Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整  
Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際500km以内で、張りを調整して下さい。
- ・ Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合は交換をお勧めします。  
Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

本キット付属のベルト(6PK1730、6PK1860)は純正オートテンショナーを使用していますのでベルトテンションの調整は必要ありません。ベルトの点検を行い、ヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合は交換をお勧めします。

## (8) 推奨パーツ

- ・ プラグ BLITZ Iridium Spec77 T7340B-6 及び7 コードNo. 14436/14437
- ・ Vベルト(6PK1730) コードNo. 10165-001
- ・ Vベルト(6PK1860) コードNo. 10127-012
- ・ Vベルト(4PK575) コードNo. 10127-013

### 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

連絡先 (株)ブリッツ TEL 0566-79-2200  
住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社ブリッツ
取扱説明書番号	10165002
初版作製年月日	2005.2.1



**BLATZ**